

かわら版

やすとう

(発行所)
藍住町矢上字安任99番地
安任自治会
鈴江裕治

安任自治会の皆さん

会員相互の親睦と情報の共有を目指し、かわら版『やすとう』を発行することになりました。
よろしくお願ひいたします。

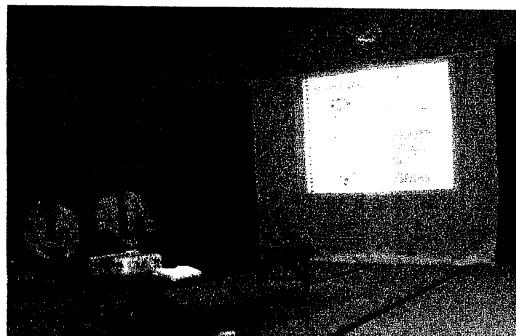


勉強会

日ごろから災害に備えよう！

講師 藍住町総務課主任(防災担当) 近藤孝公 氏

去年4月の安任自治会定時総会で「安任自主防災組織」の立ち上げについて動議がありました。また、駐在員会議でも町当局から早期立ち上げの要請がありました。そこで当自治会といたしましては、昨年11月役員会を開催し、標記近藤孝公氏を講師にお招きして勉強会を開催したところであります。



勉強会概要

「南海地震は、必ずやってくる！2030年までの発生確率は50%です。自らの地域はみんなで守る！隣近所の人々と協力、助け合いが大切です。

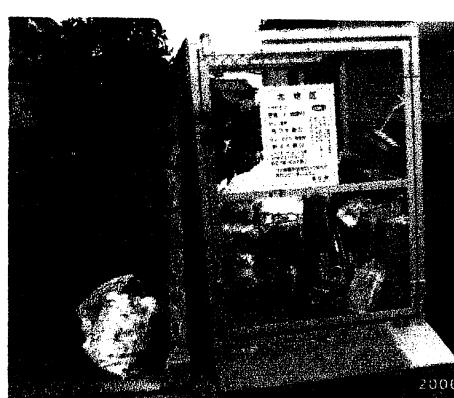
地震などの災害発生時は、個人や家族だけで対応する事には限界があります。そのためには、隣近所の人たちが、お互いに協力することが不可欠です。」と大要説明がありました。

(写真は、勉強会)

ゴミ出しのこと

いつも綺麗に清掃が行き届いています。これも利用される皆さんのご協力のお陰です。尚、ゴミは集積箱の外に置かず中に入れて頂けると満点です。

(写真は、集積箱の外に置いてあるゴミ)



防災ハンドブック配布

2006年度版は、昨年皆さんに1冊宛てお届けしました。

(写真は、防災2006年度版)



自治会活動賠償責任保険契約締結

自治会活動によって生じた傷害や損害に備える為、標記保険を締結しました。

講演会

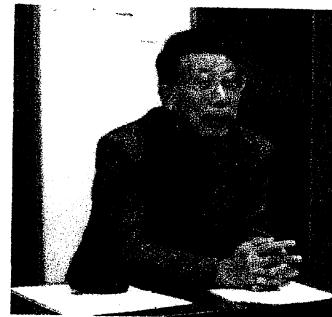
救援物資が届かない場合も



自主防災組織のない地域

講師 すみよし団地自主防災隊 防災本部長 永田修三氏

自主防災組織の必要性について当安任自治会は、班長・理事の皆さんを招集し、昨年11月の「勉強会」に続いて本年1月、先輩の「すみよし団地自主防災隊」防災本部長永田修三氏をお招きし、標記の講演会を開催いたしました。(写真は、永田氏)



講演会要旨

迫りくる南海地震！隣近所と協力、助け合いあなたとあなたの家族を守る、それが自主防災組織です。自主防災組織がないと救援物資が届かない事があります。

非常時の時、受け入れ組織を日頃から決めておくことが必要です。

自主防災組織の結成は既存すみよし団地自治会組織を活用して結成しました。既存の組織と関係なく新メンバーによる結成方法もありますが、当自治会は採用しませんでした。

結成に際し役員は、指名で輪番制をとりました。この結果、組織の立ち上げは、早く、判りやすく、皆さんのご協力が頂けました。

安任の場合、すみよし団地に比べ ① 地形が東西に細長い。

- ② 地域内にマンションが点在する。
- ③ 職業にばらつきがある。

こうした事情を事前によく相談しておく必要があるでしょう。(終)

春立つや流るる雲の空広し 吉富

徳島県立防災センター(北島町)見学会 近く皆さんにご案内予定です。

安任の声

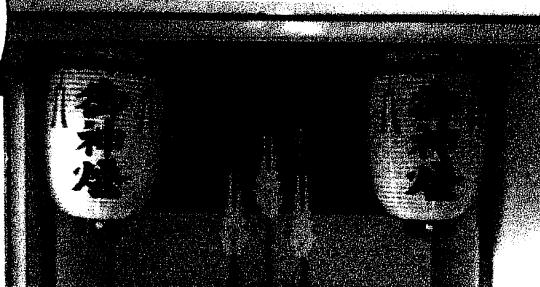
立哨

今日も学校へ肩を並べて行けるのは、雨の日も風の日も立哨して頂いている皆さんのお陰です。尚、自治会としても何かお手伝いする事があると思います。ご検討をお願いします。(通学生父兄)

路上駐車ご遠慮ください 安任は、道路がせまく、路上駐車は、近所迷惑です。特に非常のときは、大変です。お互いに気をつけましょう。

提灯1対新調しました

昨年末、日枝神社の提灯は、新調しました。
(写真は、新調された提灯)



編集後記

吉富さんから「やすとう」創刊号に祝句を頂いた。かわら版にとって仕合せであった。創刊号は、「自主防災」の特集号的なものとなりました。次号は、皆さんの身近なものを掲載したい。投稿歓迎(FAX692-4560)尚、紙面の作成に当たり笹田義宏さん徳政由美子さんのご協力を頂いた。